

「里山レンジャーのロマン紀行 No.12 2022年1月4日～3月11日」



クリーンパーク北但の里山の様子や取組について、今年も発信に努めてまいります
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

「里の恵みビオトープの正面奥」



年末年始にかけて大雪に見舞われました。雪の質も大変重かったようですが、里の恵みビオトープ周辺では、7～8本の杉の倒木がありました。そのほとんどが直径50cm以上もある大木です。その内の写真の倒木（実は3本）が金網を壊しました。

裏山の遊歩道沿いでも、多くの倒木があるのではないかと大変危惧されます。

「里山ハウスの南側斜面」



一方で、間伐と枝打ちをした場所の木々については、1本の被害もありませんでした。

里山の維持管理作業の1つとして、間伐や枝打ちの大切さを改めて感じました。



金網を壊した3本の杉の大木を切断して、なんとか金網の復旧を終えました（2月）。



遊歩道の「展望の広場」横の林床に、昨春に続き、今春もアツミカンアオイの開花を確認しました（3月9日）。カンアオイ類の種はアリが運ぶとのことですが、そのために生息域は、1年間にアリの行動範囲しか広がらないことになります。



構内に入って左手側の竹林に、遊歩道の手作り看板を設置しました。この看板を目印に、ご自由に、四季折々のトレッキングをお楽しみください。



春光が差す雪どけの場所や水辺にフキノトウを見つけると、いよいよ春だなあと心も踊ります（里の恵みビオトープにて3月11日撮影）。



「遊歩道」の看板に続き、「里の恵みビオトープ」の看板を製作中です。今年の残雪は長引き、ビオトープの整備ができない期間の屋内での一コマです。